



JR東労組 (東日本旅客鉄道労働組合)
 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-1
 東日本旅客鉄道株式会社 代々木総合事務所 5階
 電話 03-5315-0941
 発行人 佐藤英樹 編集人 湯ノ目亜矢子
 毎月1回20日発行/一部20円
 (組合員の購読料は、組合費に含む)

2022年8月20日
 第739号



JR東労組ホームページは
 ←こちらからアクセス
<http://www.jreu.or.jp/>

大雨で被災された 組合員の皆さん

総合共済 を申請できます

【申請に必要なもの】

- ・り災証明書 (※)
- ・被害状況写真
- ・住宅災害事故調査報告書



※り災証明書が取得できない場合は、領収書が必要です

【住宅災害給付】

◆持ち家の場合

給付区分	共済金
全壊 (延面積70%以上)	50万円
半壊 (延面積40%以上)	30万円
一部損壊 (延面積20%以上)	7万円
床下浸水で地盤面から30cmを超えたとき	2万円
被害額2万円を超えたとき	1万円
自然災害で被害額が1万円を超えたとき	5千円

◆借家の場合 (家財のみ)

給付区分	共済金
全壊	20万円
半壊	12万円
一部損壊	3万円
被害額2万円を超えたとき	1万円
自然災害で被害額が1万円を超えたとき	5千円

「抵抗とヒューマニズム」の精神で 仲間に寄り添い、組織で支え合おう!



東北、新潟を中心に記録的大雨発生

被災した地域の米坂線

8月に入り、記録的な大雨が局地的に発生し、河川の氾濫や土砂崩れによりレールや道路が寸断、そして大雨で家が浸水するなど多くの被害が発生しています。

JR東労組として被災状況を把握し、辛い組合員・家族に怪我はありませんが、家や家財、車等が被害に遭ったとの報告を受けています。JR東労組は被災された組合員に寄り添い、何が出来るか考え、支援を全力で行ってまいります。

命を守る行動を第一に! 不安や困ったことは直ぐに役員に連絡をお願いします!

本部として現地へ緊急激励行動!



会津若松支部



新潟地本



弘前支部



被災された組合員



支援カンパで購入した物資のダンボールにはJR総連のロゴを張って届けてくれています。



皆さんからいただいた「ウクライナ避難民への支援カンパ」を、JR総連山口執行委員長とJR東労組佐藤中央執行委員長が代表して、避難民の方々が集まる隣国ポーランドへ届けてきました。

現地ではJR東労組のポーランド研修でお世話になった旅行会社が設立するNGOにカンパ金はジャンプ・石鹸などの衛生用品や衣類や生活必需品などの支援物資として、ウクライナ国内の方々に届けられました。

ウクライナ避難民への 支援カンパを現地に届ける!

「ウクライナ現地支援行動」報告会の依頼承ります!
 実際にポーランドへ行った現地の状況など、本部が伺って報告いたします。分会大会など気兼ねなくご連絡ください!



夏を代表する昆虫の「クワガタ」。日本各地に様々な種類のクワガタが生息しているが、私はミヤマクワガタが好きだ。鎧兜を身に付けたような体と太い大顎。体全体を包む金色に輝く微毛。他の種類にはない個性がある▼「ミヤマ」は「深山」と書くように、少し標高の高い場所に生息しているので、採集するためには早朝に山まで行く必要がある▼採集したミヤマを飼育するのも一苦労。虫かごを外に出したままだとすぐに死んでしまう。そのため、クーラーボックスに虫かごを凍らせたペットボトルを入れて飼育している。ミヤマは暑さに弱いので、適正な温度にするために徹底した温度管理が必要なのだ▼夏の昆虫で見た目も強そうなミヤマだが実は繊細である。飼育していくためには、適地・適温で適切な環境を整えないといけない▼私たち労働者も似ている。個性があり意思がある。生活や家庭環境もある。これを無視し強制的に変えられることは生きていく上で大きな影響が出る。力がある者が一方的に変えていいものではないはずだ。命あるもの全てに個性と適正があることを認識しなければならぬ。

(K・S)